

第240回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成27年4月14日(火) 13:30~16:00
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、功刀副学長、神子副学長、千葉副学長、
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、松下評議員、
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員、
真田経済経営学類長、阿部評議員、佐野評議員
二見共生システム理工学類長、山口評議員、佐藤評議員、
小島統括学系長、中村事務局長
【オブザーバー】青柳理事、平山監事、高橋監事
4. 欠席者 三浦副学長、小沢副学長

5.

審議事項

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 学長選考会議委員の選出について | 資料なし |
| 2. 教員人事について | 資料なし |
| 3. 福島大学名誉教授の称号授与について | 資料1 |

報告事項

- | | |
|--|------|
| 1. 経営協議会委員について | 資料2 |
| 2. 国立大学法人福島大学中期目標・中期計画の変更について | 資料なし |
| 3. 平成27年度国立大学法人福島大学年度計画について | 資料なし |
| 4. 評価結果に対する改善報告書について | 資料3 |
| 5. 平成26年度実施大学機関別認証評価評価結果について | 資料4 |
| 6. 教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等の実施報告について | 資料なし |
| 7. 教員の学系所属について | 資料5 |
| 8. 就業規則等の一部改正について | 資料なし |
| 9. 平成27年度入学試験実施結果について | 資料6 |
| 10. 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について | 資料7 |
| 11. 福島大学発ベンチャーの設立について | 資料8 |
| 12. 国立大学法人福島大学と独立行政法人産業技術総合研究所との連携・協力の推進に係る協定書の有効期間の延長に関する合意書の締結について | 資料9 |

13. 福島大学における農学系人材育成機能のあり方に関する検討体制について
資料10
14. 「国立環境研究所との協定締結」及び「ウクライナ国内の大学等との覚書締結」について
資料11
15. その他
・ 附属図書館工事後のスケジュールについて
資料12

【就任挨拶】

冒頭に学長の挨拶後、この4月に就任した評議員、陪席者の紹介と挨拶があった。

【確認事項】

第239回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 学長選考会議委員の選出について

中井学長から、学長選考会議規則第2条第1項に基づき、学長選考会議委員の選考について各学類から選出する委員は学類長とする旨の提案があった。なお、副学長、事務局長については引き続き委員となることの説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(2) 教員人事について

中井学長から、「国立大学法人福島大学職員任免規程」第20条の規定に基づき、行政政策学類教員1名の休職の延長について提案があった。

また、久我行政政策学類長より、延長の事由や期間等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(3) 福島大学名誉教授の称号授与について

功刀副学長から、資料1により、各学類長からの名誉教授の推薦を受け、名誉教授称号授与規則第2条第1項に基づき、選考の提案があった。なお、前共生システム理工学類の石原 正教授は、福島大学名誉教授称号授与規則第3条第1項第2号、福島大学名誉教授称号授与に関する運用について「2の一」に該当する旨の説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、選考一覧のみ教員控室掲示の上、報告することとした。各推

薦調書については、会議終了後回収した。

【報告事項】

(1) 経営協議会委員について

中井学長から、資料2に基づき、平成27年4月1日付け国立大学法人福島大学経営協議会規則改正に伴い1名増員することとなったため、平成27年度の経営協議会委員として林 由美子氏を選考した旨の報告があった。

なお、林氏の任期は他の学外委員に任期に合わせ、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの任期とする。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 国立大学法人福島大学中期目標・中期計画の変更について

中井学長から、平成27年1月末に申請した、農学系人材養成に係る中期計画変更について、3月31日付け認可通知があった旨の報告があった。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(3) 平成27年度国立大学法人福島大学年度計画について

中井学長から、平成27年3月31日付けで中期目標計画変更認可を受けた後、同日付けで標記年度計画を文部科学省へ提出した旨の報告があった。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(4) 評価結果に対する改善報告書について

功刀副学長から、資料3に基づき、役員懇談会（3月30日開催）を受け、外部評価及び認証評価の評価結果に係る改善点の報告があった。各担当副学長、学類長より達成状況の低い課題項目について説明があった。

なお、小島統括学系長から、14ページにおける表記の確認があり、資料を一部修正することとした。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(5) 平成26年度実施大学機関別認証評価評価結果について

功刀副学長から、資料4に基づき、大学評価・学位授与機構から、平成26年度に実施した大学機関別認証評価及び選択評価の評価結果通知及び認定証が届いた旨の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) 教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等に実施報告について

功刀副学長から、「研究機関における公的研究費に管理・監査のガイドライン（実施基準）」で求められている、教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等について、26年度における対象者全員が受講し、誓約書が提出された旨の報告があった。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(7) 教員の学系所属について

功刀副学長から、資料5に基づき、平成27年4月1日現在の学系所属について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(8) 就業規則等の一部改正について

功刀副学長から、第238回教育研究評議会（3月3日）報告の就業規則一部改正について、第363回役員会（3月30日）において決定した旨の報告があった。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

(9) 平成27年度入学試験実施結果について

三浦副学長が欠席のため、佐藤入試課長より、資料6に基づき、平成27年度入試の結果、確定入学者数の内訳等について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(10) 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

三浦副学長が欠席のため、功刀副学長から、資料7に基づき、平成28年度全入試において、被災者を対象に検定料の免除を行うこと、併せて募集事項に掲載する旨の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(11) 福島大学発ベンチャーの設立について

千葉副学長から、資料8に基づき、国立大学法人福島大学発ベンチャー支援に関する規程に基づき、株式会社ミューラボが平成27年4月1日に設立され、同企業より「大学発ベンチャー支援申請書」の提出があったため、同規程第7条の規定による支援審査会の決定により、「国立大学法人福島大学発ベンチャー」の称号を授与した旨の報告があった。

また、荒木研究振興課長より、株式会社ミューラボが活用する理工学類・高橋隆行教授の研究成果について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

- (12) 国立大学法人福島大学と独立行政法人産業技術総合研究所との連携・協力の推進に係る協定書の有効期間の延長に関する合意書の締結について

小沢副学長が欠席のため、功刀副学長から、資料9に基づき、平成24年2月16日に締結した「国立大学法人福島大学と独立行政法人産業総合研究所との連携・協力の推進に係る協定書」の有効期限が平成27年3月31日に終了することから、「連携・協力の推進に係る協定書の有効期限の延長に関する合意書」の締結により延長することについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

- (13) 福島大学における農学系人材育成機能のあり方に関する検討体制について

中村事務局長から、資料10に基づき、平成27年度概算要求において、特別経費（プロジェクト分【新規事業】）「福島に望まれる農学系人材の養成機能に係る調査」に係る予算措置がなされたことを受け、「福島大学農学系人材養成機能のあり方に関する検討体制を定める要項」及び「福島大学農学系人材養成機能調査室要項」を、平成27年4月14日付けで制定した旨の報告があった。

続けて、経済経営学類小山良太教授より、資料10に基づき、本プロジェクトの概要について説明があった。

千葉人間発達文化学類長から、検討体制における協議会及び検討会について、発足当時から県職員やJA等の学外委員が加入すること、また構成員が経済経営学類から多く選出されていることについて、どのような意図があるのか質問があった。

中井学長から、地域からの要望が強く、外部の協力なしには困難な調査であること、また、本プロジェクトは経済経営学類「ふくしま未来食・農教育プログラム」との関わりから経済経営学類の教員が多くなっているものであり、特段の意図はないとの説明があった。また、学内の検討については、調査結果をもとに構想を策定する段階で役員会や教育研究評議会で議論されるものと考えているとの発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

- (14) 「国立環境研究所との協定締結」及び「ウクライナ国内の大学等との覚書締結」について

中井学長から、資料11に基づき、研究施設、研究成果、人材等を連携活用し、相互の研究および人材育成の充実を図ることなどを目的に、「国立環境研究所」、「ウクライナ国立生命環境科学大学」、「チェルニーヒウ国立工科大学」、「オデッ

サ国立環境大学」との連携協定を締結する旨の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(15) その他

- ・ 附属図書館工事後のスケジュールについて

千葉副学長から、附属図書館工事後のスケジュールについて、報告があった。